

第2回いばらき食と農の 交流フェスタに 163人!

2007年12月15日(土) in 茨城大学農学部こぶし会館

晴天に恵まれ、午前10時から開会。実行委員長のあいさつに続き、農学部労働組合の小林委員長、松田学部長からもあいさつをいただきました。今回のメインテーマ「応援しよう!茨城の農業—国民が支える農業めざして—」と農学部労働組合と第2回いばらき食と農の交流フェスタ実行委員会が主催し、生産者や市民、研究者等が交流を深めました。

午前中は県職員から新規就農者支援対策のお話を伺い、新規に就農した若い方からのリアルな話も聞きました。また、茨城大学農学部のフィールドサイエンス教育研究センターの実践を足立教授からお話していただき好評を得ました。

お昼は、生産者のお母ちゃんたちによる22品の郷土料理をバイキング形式でわいわいと舌鼓をうちました。その後野菜が景品のクイズや茨城大学の中南米音楽研究会によるコンサートがあり、とても優雅なひと時に参加者から拍手喝采でした。他にも



茨城大学中南米音楽研究会の演奏

紙芝居や折り紙、ヨーヨーつりのキッズコーナーや食品分析センター(東京)の職員による実験、健康チェックコーナーもあり、外ではテントの下、新鮮で安全な野菜や豆、加工品などの販売も行われ、一日を楽しみました。

日本の農業をみんなで考え、話し合う場として1つのいい機会になったのではないのでしょうか。



キッズコーナー“つれたー!”



フィールドサイエンス教育研究の実践